

## VI みどりのまち親愛(令和3年度事業報告)

### 1. 令和3年度経営方針

新型コロナウイルスの感染予防、拡大防止を重点に置き取り組みを行うとともに、利用者の余暇活動等のメニューを工夫し、利用者支援の充実を図る。

報酬改定の事項に合わせ各種加算を最大限に活用するほか、利用率の改善と職員数の不足解消を進め、安定した経営を目指す。そのために必要な人材確保に向け、年間を通して求人活動を行うとともに、職員配置の見直し、定期的なユニット間異動の取り組みを行う。

ユニットケアが目指す「一人ひとりの自分らしい暮らし」に向けた支援が行えるよう、研修を通し職員の育成に取り組む。引き続き「24Hシート」の活用を通してユニット内の情報共有化を進める。

一定年数を経過した機材の修理、入れ替えを行う。夜間の緊急対応に備え、オンコール体制を見直す。

### 2. 令和3年度取り組み

#### (1) 利用者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
ア 夜間の入居者支援の強化とオンコール体制の整備 夜間の緊急時に看護師の指示のもと早急に対応できるようにオンコールを外部業者に委託し、体制を整える。	オンコールについては、専門業者(ドクターメイト)に委託し対応した。年間 73 件のコールを行った。転倒や発熱時の対処、脳梗塞が疑われた際の救急搬送の指示等により適切な対応ができた。

#### (2) 人材育成

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
ア 介護知識・技術を高めるため、外部研修への参加 施設内研修を行う (ア) キャリアパス制度に則し、職務に応じた研修の受講を進める。 (イ) 内部研修については別に日程を設定し実施する。 (ウ) 認知症介護基礎研修を受講する。(医療・福祉関係の資格を有さない職員対象) (エ) 安全管理体制担当者研修を受講する。	(ア) コロナウイルス感染予防から外部研修には参加できなかった。 (イ) 内部研修については、研修計画により実施した。コロナウイルス感染状況により、一部書面による研修に切り替えた。 (ウ) 対象者 1 名がオンラインにより受講した。 (エ) リスク対応の相談員 2 名が受講し、担当者の配置により加算取得に結び付いた。
イ 資格取得についての取り組み 資格取得を推進するため、実務者研修受講者に対し、介護人材確保促進事業等の補助金の活用により、受講料の補助を行う。	介護福祉士試験に 3 名の職員が受験し合格した。

### 3 施設設備管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア ユニット用パソコン、PHS の入れ替え 一定年数を経過したパソコンの順次入れ替えを行う。(ユニット 10 台、医務室 2 台) ナースコール対応の PHS は必要に応じ買い替えを行う。</p>	<p>各ユニットのパソコン 10 台と医務室のパソコン 2 台の入れ替えを行った。 ナースコールとナースコール対応 PHS は生産中止のため、修理と予備部品の購入を進めることとした。</p>
<p>イ エレベーターの非常用バッテリー交換 使用期間を経過したバッテリーの交換を行う</p>	<p>コロナ禍のため業者との日程調整がつかず未実施である。令和 4 年度に予定。</p>
<p>ウ ユニット内リビングエアコンの修理</p>	<p>ユニット内リビングのエアコンについては、異音が発生していたため修理依頼をしたが、機器の調整のみで終了した。その他、作動不良であった厨房と洗濯乾燥室のエアコン修理を行った。</p>

### 4 危機管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア 消防計画に基づく避難訓練の実施 年 2 回の避難訓練を実施し、1 回は夜間想定訓練とし、1 回は消防署の立会い訓練とする。</p>	<p>消防計画に基づき年間 2 回の訓練を実施した。 第 1 回:9 月 21 日(日中想定) 緊急事態宣言中のため消防署立会いは中止となった。 第 2 回:2 月 22 日(夜間想定) まん延防止措置期間中のため消防署の立ち会いは中止となった。</p>
<p>イ 防災に向けての整備 (ア) 防災用品の購入 ヘルメット、災害用毛布等災害時に備え一定数を購入する。 (イ) 受水槽防災用蛇口取付 災害時に受水槽から飲料水を汲み出せるよう蛇口を設置する。 (ウ) 地域との連携</p>	<p>(ア) 新型コロナウイルス対応の衛生用品等の購入に切り替え対応した。 (イ) 濁りの対応のため井戸の洗浄を実施。一定期間経過を確認する事となり、蛇口設置は再検討することとなった。 (ウ) 新型コロナウイルス感染予防から自治会との会議は中止となった。</p>

## 5 その他

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア 人材確保 年間を通し人材確保のための方策を講じる。(説明会への参加、養成校での案内、求人広告、ネット求人、派遣職員の利用等)</p>	<p>法人の採用活動に加え、県社協主催の介護の魅力 PR 隊に職員を派遣した。また、初任者研修実施校の受講者向けリモート説明会に定期的に出席した。</p>
<p>イ 園庭整備 夏季の除草対策、ユニットの湿気対策として、また、入居者が散策できるように園庭の整備を進める。</p>	<p>夏季の除草対策は法人内他事業所職員の協力により対応した。 12 月よりシルバー人材センターと請負契約を結び配置された担当者と事務員、運転手が中心となり園庭の植栽の整備を進めた。</p>
<p>ウ 腰痛対策 介護補助機器の導入検討</p>	<p>腰痛対策として介護補助機器の導入に向け、情報収集を行い、川越市内の業者によるデモンストラーション及び試着を行ったが、装着効果の実感が得られず、導入には至らなかった。</p>
<p>エ 新型コロナウイルスへの対応 (ア) 衛生用品等の購入  (イ) PCR検査の実施  (ウ) ワクチンの接種  (エ) 委員会開催、指針の整備、研修・訓練の実施 (オ) 業務継続計画の策定</p>	<p>(ア) 新型コロナウイルス陽性者、濃厚接触者等発生状況に応じ、防護服等を着用し、その都度補充を行った。 (イ) 日本財団による無料のPCR検査を2週間ごとに実施した。 (ウ) 関本病院の協力により、入居者、職員に3回のワクチンの接種を実施した。 (エ)(オ)は3年間の経過措置内に整備予定である。委員会については、感染状況により開催し、職員への注意喚起、家族面会の調整等を行った。</p>
<p>オ 地域社会との共生 (ア) 地域貢献を念頭に地域との連携を図ることで福祉拠点としての役割を果たす。 (イ) 実習生、ボランティアを受け入れることで、介護事業への理解を深めてもらうとともに、後進の育成に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防のため、地域との連携会議、実習生、ボランティアの受け入れは行わなかった。</p>

■ みどりのまち親愛（令和3年度事業報告 資料）

令和4年3月31日現在

1 利用者状況

(1) 要介護度(名)

要介護度			
	男	女	計
5	13	21	34
4	5	27	32
3	2	20	22
合計	20	68	88

平均介護度=3.9

(2) 年齢構成(名)

区分 種別	性別	65歳以上～70歳未満	70歳以上～75歳未満	75歳以上～80歳未満	80歳以上～85歳未満	85歳以上～90歳未満	90歳以上	平均(歳)
		(特養)	男	0	2	5	7	
	女	0	5	9	17	14	23	86
	計	0	7	14	24	17	26	85.1

(3) 通院・入院状況 (名)

区分	科目	精神科	内科	外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	整形外科	婦人科	歯科	その他	計
	通院者											

その他の内訳 脳神経外科 37 形成外科 14 神経内科 5 泌尿器科 18 救急 9 その他 8

ア 往診の状況

	関本医師	佐々木医師	健友会(歯科)	つばさ診療所(眼科)	城南中央病院	その他
受診者	1417	1106	1360	19	24	0

イ 入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入院者数	7	6	7	4	6	3	1	4	4	3	6	5	56	4.6
延入院日数	107	131	94	92	87	35	1	54	40	27	91	74	833	69.4

※入院者数は昨年より4名減り、延べ入院日数は139日減少した。

## 2 事業所状況

### (1)各事業の実施状況

【特別養護老人ホーム】 定員 90 名

月	入居者数	退居者数	月末在籍者数	延べ利用 人数	稼働率(%)
4月	3	2	85	2,437	90.3
5月	4	1	88	2,551	91.4
6月	1	1	88	2,549	94.4
7月	2	0	90	2,667	95.6
8月	0	3	87	2,671	95.7
9月	1	2	86	2,568	95.1
10月	3	0	89	2,710	97.1
11月	1	0	90	2,630	97.4
12月	1	3	88	2,687	96.3
1月	2	1	89	2,733	98.0
2月	1	1	89	2,411	95.7
3月	1	3	87	2,683	96.2
合計	20	17		31,297	
平均			88		95.2

※昨年度より延べ利用者が 1,724 名増加し、稼働率が 5.2%上がった。

【短期入所生活介護事業】 定員 10 名

月	要支援・要介護度							延べ 利用人数	稼働率 (%)
	支1	支2	1	2	3	4	5		
4月	0	0	8	50	115	31	25	229	76.3
5月	0	0	15	64	83	38	27	227	73.2
6月	0	0	3	62	83	59	28	235	78.3
7月	0	2	12	68	103	87	17	289	93.2
8月	0	0	7	61	95	72	48	283	91.9
9月	0	0	2	59	96	71	35	263	87.7
10月	0	0	9	43	98	78	36	264	85.2
11月	0	0	9	56	92	82	15	254	84.7
12月	0	0	15	60	85	75	22	257	82.9
1月	0	0	22	33	121	67	22	265	85.5
2月	0	0	7	27	117	56	8	215	76.8
3月	0	0	31	31	142	65	12	281	90.6
合計	0	2	140	614	1,230	781	295	3,062	
平均									83.9

※昨年度より延べ利用者数が 600 名増加し、稼働率が 16.4%上がった。

【地域密着型通所介護事業】 定員 15名

月	要支援・要介護度							延べ利用 人数	稼働率 (%)
	支1	支2	1	2	3	4	5		
4月	0	0	110	119	64	38	14	345	88.5
5月	0	0	116	114	69	37	13	349	89.5
6月	0	0	113	115	75	34	11	348	89.2
7月	5	0	118	105	61	50	11	350	86.4
8月	4	0	98	114	65	49	14	344	88.2
9月	4	0	103	99	74	56	12	348	89.2
10月	5	0	97	86	71	49	12	320	82.1
11月	4	0	91	90	80	34	15	314	80.5
12月	4	0	96	99	77	37	18	331	84.9
1月	4	0	85	78	82	26	14	289	80.3
2月	0	0	78	62	82	19	6	247	68.6
3月	5	0	102	61	102	18	14	302	74.6
合計	35	0	1207	1142	902	447	154	3887	
平均									83.6

※延べ利用者数は昨年度より302名増加し、稼働率は3.7%上がった。

年間稼働日数 310日

平均利用者数 12.5名/日 (昨年度 12名/日)

(2) ボランティアの受け入れ状況

受け入れ	延べ人数(名)	受入事業	延べ人数(名)
余暇・趣味	0	その他(傾聴)	0
行事活動(外出引率等)	0		
環境整備(掃除・洗濯等)	0	合計	0

(3) 実習生・研修生の受け入れ

区分	実習校等(か所)	人数(名)	延べ日数(日)
実習生	0	0	0
研修生	0	0	0

※新型コロナウイルス感染予防のため、ボランティア及び学生の実習は受け入れを中止した。